


りんご輸出チャレンジャー報告（外崎 裕一）

<p>プロフィール</p>	<p>2013年に企業を退職し、就農しました。</p> <p>約1.6haのりんご園とジュース加工場を家族で経営しています。</p> <p>生産・出荷するだけの農家では今後の未来はないと考え、直接消費者にお届けすることを主体とした経営を目指しています。</p> 
<p>経営の特徴</p>	<p>「ふじ」を主体にした品種構成で、「ふじ」、「サンふじ」を多く栽培しています。近年では食べる人のニーズに合わせた品種も増やしています。</p> <p>自社の加工場を持ち、りんごジュースの加工・販売のほか、地元りんご農家さんからの加工委託も行っています。</p>
<p>輸出取り組みの抱負</p>	<p>海外の「アップル」と青森の「りんご」はまったく違うものであり、「りんご」は世界で受け入れてもらえると思っています。</p> <p>これからも青森の「りんご」の品質を落とすことなく、お届けできるように努めていきます。</p>
<p>現在の作業状況</p>	<p>「ふじ」、「サンふじ」の果実に日が当たるようにりんごを人の手で一つ一つ回しています。この作業をすることで色ムラのない、赤いりんごを作ることができます。</p> <p>日々の園地作業では、味だけではなく、見た目でも美味しいりんごを生産することに努めています。</p>
<p>今年のリんごの作柄</p>	<p>「早生ふじ」は、取引先から「今年は糖度が高い」と評判も上々です。これから収穫期を迎える「サンふじ」も期待してください。</p>